

# 全米オープンテニス遠征 報告書



2010年8月26日～9月8日

ニューヨーク・ナショナルテニスセンター

全国高体連テニス部



## 選手団

ディレクター 古賀通生

団長 馬瀬隆彦

監督 迫田義次

コーチ 福永二郎

選手 近藤大基

今西美晴

## 日程

8/26 (木) ~ 28 (土)	事前合宿 (NTC)
8/28 (土)	結団式 (ホテル日航成田)
8/29 (日) ~ 9/8 (水)	全米オープンテニス

## 大会成績

男子予選1回戦	近藤大基	5-7	Gonzales Austin (アメリカ)
		7-5	
		7-6 (7)	
2回戦	近藤大基	6-4	Diego Galeano (パラグアイ)
		6-1	
男子本選1回戦	近藤大基	2-6	Kevin Krawietz (ドイツ)
		2-6	
女子予選1回戦	今西美晴	7-5	Sabina Sharipova (ウズベキスタン)
		1-6	
		1-6	

## 総括

監督 迫田義次

春の全国高校選抜テニス大会の個人戦で優勝した男女が代表選手として選出され、全米オープンジュニアテニス大会に挑戦した。

今年は、「味の素ナショナルトレーニングセンター」で事前合宿を実施し、役員・監督と選手のコミュニケーションを図りながら、今大会の目標づくり及び強化練習を実施した。この合宿実施にあたって、日本テニス協会の福井烈強化本部長や右近憲三コーチに会場確保や練習サポートに御協力いただき大変感謝いたします。

8月30日～9月2日までの4日間は、時差の解消や環境への適応、テニスコンディションのチェック、モチベーションアップ等を主な目的とし、マンハッタンラケットクラブ及び大会会場で調整練習を重ねて大会への準備をした。大会結果としては、今西選手は予選1回戦ファイナルセットで敗退したが、近藤選手が見事に予選を突破して本戦出場を果たした。本戦1回戦ではサーブとリターンで圧倒される形で敗退したが、今後の高体連テニスのレベルアップに繋がる実績としたい。

ここで、US オープンジュニア大会参加の経緯を改めて紹介します。世界に通用する選手を育成したいという全国高体連テニス部の願いを、サポートいただいているメーカーの御協力やUSTAの御理解もとに、2003年からワイルドカードにて男女1名の参加が実現したものです。今後も更なるレベルアップを図りながら価値あるチャレンジの場にしたいと考えています。



## 全米オープンに参加して

湘南工科大附属高等学校 近藤 大基

まず始めに、全国高体連テニス部の皆様、そして現地でお世話になったウィルソンの皆様、こういった誠に貴重な時間を作っていただきありがとうございました。

今回は、8月26日から3日間国内合宿をし、29日に出発、現地で4日間練習をして、9月3日から試合という日程でした。8月26日からの合宿は、ナショナルトレーニングセンターという国内最高峰の施設での練習で、大変充実した練習をさせていただきました。現地での練習は、一緒に行動を共にした今西美晴選手と合同で実施し、試合前日は大会会場で外国人選手との練習でした。

試合の方は、予選1回戦が地元アメリカの AUSTINGONZALES 選手に5-7. 7-5. 7-6 (7) で勝ち、決勝はパラグアイの GALEARODIEGO 選手に6-4. 6-1 で勝って本戦にあがりました。本戦1回戦では、ドイツの KRAWETSKEVIN 選手に2-6. 2-6 で負けてしまいました。全体的な感想としては、外国人選手はみんなサービスがものすごく良いこと、そしてパワーで押されてミスを誘われたり、ポイントを奪われるという感じがしました。今回は全国高体連の先生方やウィルソンのスタッフのおかげで、現在の自分自身の最高のパフォーマンスを出すことができました。今回の試合を通じてレベルアップができたと思っています。さらに、試合会場でトッププロを間近で見ることができたりして、自分のレベルが世界のどのレベルにいるのかなど、世界のトップとの差がはっきりと解りました。これは自分にとって大変良い収穫であったし、今後に生かせることだと思います。また自分がグランドスラムの大会に戻れるのは何年後になるかわかりませんが、必ず出場したいという気持ちが強く芽生えました。そのためには、今のままでは確実に追いつかないと思ったので、自分なりに工夫して最大限努力して行こうと思います。

今回は、このような機会を作っていただき誠にありがとうございました。今後も今回の経験を生かして頑張っていきたいと思っています。



## 全米オープンに参加して

京都外大西高等学校 今西美晴

今回 US オープンに出場する機会をいただいて今までにない色々な経験ができました。

合宿では、NTC でプロの中村選手に練習していただきました。色々なアドバイスをいただき、それができるようになるたびに楽しくなり、時間が短く感じました。良い環境でテニスできて充実した合宿でした。

ニューヨークに着いて、近くの民間コートで毎日練習して試合に備えました。会場では、プロの選手達を間近にしてワクワクし、自分の試合が待ち遠しくなりました。

試合手前、全国の高校生の代表として出場して、みんなの分まで頑張ろうと思って試合に挑みました。しかし、予選の1回戦でウズベキスタンの選手に7-5、1-6、1-6のスコアで負けてしまいました。凄く悔しいし、ショックでした。自分だけ早く負けてしまって、試合をしている選手を見るたびに複雑な気持ちでいっぱいでした。しかし、この大会で今の自分の課題や今後どうして行くべきか見つけることができたし、世界のプロの選手を沢山見て、色々感じる事ができました。

学校の部活で3年間やってきて、ここまで来られたのは自信にしていきたいです。

最後に、この素晴らしい機会を与えてくださった全国高体連の先生方、アメアポーツ様、その他多くの皆様、本当にありがとうございました

この御恩は、絶対に将来プレーでお返しします。